

合併について町長の信を問う

誠心誠意努力する

打診を行ったか。

正式には2回

町長

正式には2回、あらゆる会議の中で少なくとも4〜5回はお願いしている。

志布志市からの働きかけは

宮本議員

本町から働きかけない限り志布志市からは合併に関するアクションはないと思うが、志布志市からも何らかの働きかけがあっても良いと思うか。

手立ては

お願いしている

町長

これまでも志布志市議あるいは市長に何らかの対応をお願いしている。



宮本 昭一 議員

選挙公約で合併推進を掲げたからには、最大限の努力を払いながら実現を目指すのが当然と考えるが。

実現に向けて

努力する

町長

これまであらゆる場で協議しており、目標実現に向けて最大の努力をしている。

志布志市への

訪問回数は

宮本議員

町長は、これまで正式に何回、志布志市と接触・

対話を促す必要は

宮本議員

新市の中で、わが町をどのように活かしていくかについて研究を進め、具体的に協議に活用していくことが必要である。提案型で準備を進め、対話を促す必要があると思うが。

協議会が

整った段階で

町長

協議会が設置されれば、その中で町づくり構想は当然やるべきことであり、その段階で協議をするべきと思っている。

町長部局を

挙げて取り組みを

宮本議員

志布志市が総合計画や

過疎計画を着々と進めている中に、本町の計画を盛り込むには町長部局を挙げて取り組みが必要があると思うが。

長期事業として努力

町長

大崎町の総合計画に基づいて事業を進めてきているので、長期的な事業と町づくりが衰退することがないように努力する。

新法内での合併実現は可能か

宮本議員

残り時間が少なくなっている中で、新法の期限内に実現を図るとなるとどのように考えているか。

法の期限内を目標

町長

新法期限内での合併実現を目標にしている。

理想とする日程は

宮本議員

合併を相手方に申し入れている中で、現時点での今後の日程の見通しは。

9月の法定協を目標

町長

20年9月を目処に合併協議会を立ち上げたいと思っているので、精力的に合併に向けて協議が整うよう努力する。

対等合併は

できるのか

宮本議員

対等合併には厳しいものがあるが、編入合併の考え方が出てきた場合はどのように対処していくのか。

対等合併で申し入れ

町長

現段階では対等合併をお願いしたいと思っている。

住民説明会の開催を

宮本議員

住民の不安感の解消を図るため住民説明等が必要と思うが。

5月〜6月に実施

町長

5月中旬から6月上旬にかけて行政座談会を実施する。

今後の決意は

宮本議員

町長として不転の決意を持って合併をやり遂げようと考えているか。

精一杯努力する

町長

法の期限内でできるように精一杯努力し頑張る。